

# 平成28年度事業計画

(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

平成27年度に引き続き、ダム工学研究の向上発展を図ることを目的とし、以下の事業を実施する。

## 1. 委員会等活動

- 1) 通常総会
- 2) 理事会
- 3) 評議委員会
- 4) 委員会
  - ・企画運営委員会
  - ・編集委員会
  - ・調査研究委員会
  - ・これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会
  - ・災害調査委員会
  - ・表彰委員会
  - ・選考委員会
  - ・優秀発表賞選考委員会の各委員会を開催する。

## 2. 行事活動

- |                                          |    |           |
|------------------------------------------|----|-----------|
| 1) 学術講演会                                 | 1回 | } 合同開催の予定 |
| 2) 研究発表会                                 | 1回 |           |
| 3) 講習会                                   | 1回 |           |
| 4) 現地見学会                                 | 1回 |           |
| 5) ダム工学会賞 表彰                             | 1回 |           |
| 6) 活性化関連活動                               |    |           |
| ・地域活動                                    |    |           |
| ・若手の会                                    |    |           |
| ・ダムなんでも相談室                               |    |           |
| ・with Dam★Night 東京、東北、中部・近畿、中国・四国、九州で開催。 |    |           |
| ・ダム技術史講演会の開催。                            |    |           |

### 3. 出版・広報活動

#### 1) 学会誌「ダム工学」

VOL. 26 No.2 平成28年 6月 発行予定 (平成28年 6月15日号)

VOL. 26 No.3 平成28年 9月 発行予定 (平成28年 9月15日号)

VOL. 26 No.4 平成28年12月 発行予定 (平成28年12月15日号)

VOL. 27 No.1 平成29年 3月 発行予定 (平成29年 3月15日号)

#### 2) 新しいダム工学会ホームページの運用、メルマガ通信の配信

#### 3) 戦略的・効果的な広報の実施

新しいダム工学会ホームページにより、一般の方にダムに関する見学会等のイベント情報とダムの役割などの知識の提供を開始する。また、他のダム関係諸団体のホームページにもリンクを張り、戦略的・効果的な広報の実施を図る。

### 4. 研究活動

1)～7)の研究部会の活動と共に、ダム工学会の交流研究連絡会議による交流研究に取り組む。

#### 4. 1 研究部会 平成28年度活動内容

##### 1) コンクリートダム研究部会

新たな研究テーマについて検討を行う。

##### 2) フィルダム研究部会

平成27年度に引き続き「大規模地震時におけるフィルダムの被災と復旧ならびにダム決壊洪水の伝播の研究」について討議していく。

##### 3) 地質・基礎研究部会

平成27年度に引き続き、「ダム（堤体、貯水池周辺斜面）の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について討議していく。

##### 4) 維持管理研究部会

平成27年度に引き続き『ダム貯水池の有効利用等に関する事例研究』について、ダム貯水池の活用と地域への情報発信について事例研究を実施し、雑誌「ダム工学」に部会報告用の原稿を作成する。

また、次年度研究に向けた新テーマについて議論する。

#### 5) 施工研究部会

交流研究事業「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」で収集した資料を活用し、「ダム堤体のひび割れについての事例収集と評価」について、討議する。

#### 6) 計測管理研究部会

平成27年度に引き続き、国土交通省中国地方整備局が管理する重力式コンクリートダムである尾原ダムをフィールドに、GPS変位計測の重力式コンクリートダムへの適用に関する、山口大学との交流研究事業による研究を実施する。

#### 7) ダム技術史研究部会

ダム技術史のとりまとめ、ダム技術史上のエポックメイキングなダムの事例収集を実施する。

### 4. 2 交流研究事業

平成27年度に採択した「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」「GPS変位計測システムを用いた重力式コンクリートダムの変位計測に関する研究」を継続するとともに、新規テーマについて、着手することを検討する。

#### 1) ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究

平成27年度に収集した26ダムの資料の整理を行うとともに、温度ひび割れの有無（ひび割れ発生確率）とひび割れ指数との関係を分析する。

#### 2) GPS変位計システムを用いた重力式コンクリートダムの変位計測に関する研究

重力式コンクリートダムへのGPS変位計測導入のためのガイドライン（案）の作成を行う。

### 5. これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会

準備会を含めた3回の委員会の議論、作業部会で実施した専門分野の方からのヒアリング等をふまえ最終取りまとめ（案）を作成する。

# 平成28年度 収支予算

(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(単位：円)

## 収入の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	前年度決算額	備考
<b>1. 会費収入 (①～④計)</b>	<b>11,480,000</b>	<b>10,164,000</b>	<b>1,316,000</b>	<b>12,503,590</b>	
①正会員会費	4,380,000	4,374,000	6,000	4,503,590	730名で計上。
②学生会員会費	0	0	0	0	
③シニア会員会費	100,000	140,000	△ 40,000	150,000	
④賛助会員会費	7,000,000	5,650,000	1,350,000	7,850,000	賛助会員及び口数の増
<b>2. 事業収入 (①～⑦計)</b>	<b>2,248,000</b>	<b>2,400,000</b>	<b>△ 152,000</b>	<b>2,433,000</b>	
①総務小委員会収入	370,000	370,000	0	546,000	第26回通常総会 会費
②研究発表会収入	200,000	200,000	0	207,000	学術研究発表会小委員会
③現地見学会収入	1,158,000	1,270,000	△ 112,000	1,144,000	現地見学小委員会 (大ダム会議と合同開催) ※大ダム会議負担金除く
④講習会収入	0	0	0	0	講習会小委員会
⑤表彰関係収入	0	50,000	△ 50,000	39,000	H28は、技術開発賞公開審査会を開催しない
⑥活性化推進収入	520,000	490,000	30,000	497,000	活性化推進小委員会
若手の会	20,000	20,000	0	50,000	
ダムなんでも相談室	0	0	0	0	※CMED会・河川整備基金除く
北海道ブロック	30,000	30,000	0	21,000	ダム見学会(支部) 参加費
東北ブロック	0	0	0	0	
中部近畿ブロック	280,000	280,000	0	253,000	with Dam Night会費 ダム見学会(支部) 参加費
中国四国ブロック	0	0	0	0	
九州ブロック	190,000	160,000	30,000	173,000	with Dam Night会費 ダム見学会(支部)参加費 ※社)九州地方計画協会補助金除く
With Dam Night 2016	0	0	0	0	
ダム技術史講演会	0	0	0	0	
⑦調査研究収入	0	20,000	△ 20,000	0	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	0	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	0	
地質・基礎研究部会	0	20,000	△ 20,000	0	
維持管理研究部会	0	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	0	
計測管理研究部会	0	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	0	0	0	
交流研究連絡会議	0	0	0	0	
これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会	0	0	0	0	
<b>3. 刊行収入等 (①～④計)</b>	<b>1,765,000</b>	<b>1,930,000</b>	<b>△ 165,000</b>	<b>1,761,527</b>	
①会誌一般頒布収入	360,000	340,000	20,000	360,000	購読会員会費
②会誌広告料	1,260,000	1,080,000	180,000	1,260,000	会誌広告料
③抜刷別刷収入	75,000	460,000	△ 385,000	71,280	会誌の抜刷・カラー印刷
④その他収入	70,000	50,000	20,000	70,247	IST特許料・学術著作権複写
<b>4. 図書出版事業収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>82,250</b>	
<b>5. 雑収入 (①～②計)</b>	<b>1,352,000</b>	<b>752,000</b>	<b>600,000</b>	<b>1,550,882</b>	
①補助金収入	1,350,000	750,000	600,000	1,550,000	大ダム会議(5万)・CMED会(20万) 河川整備基金(60万) 九州地方計画協会(50万)
②受取利息	2,000	2,000	0	882	銀行利息
小計 (1～5計)	16,845,000	15,246,000	1,599,000	18,331,249	
<b>6. 前年度繰越金</b>	<b>13,156,070</b>	<b>9,338,162</b>	<b>3,817,908</b>	<b>9,338,162</b>	
合計 (小計+6)	30,001,070	24,584,162	5,416,908	27,669,411	

(単位：円)

## 支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	前年度決算額	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	11,643,000	11,220,000	423,000	8,519,762	
①研究発表会支出	800,000	800,000	0	803,024	学術研究発表会小委員会
②現地見学会支出	1,340,000	1,430,000	△ 90,000	1,114,614	現地見学会小委員会 (大ダム会議と合同開催)
③講習会支出	250,000	250,000	0	143,677	講習会小委員会
④表彰関係支出	1,873,000	1,540,000	333,000	1,001,095	表彰・選考委員会
⑤広報支出	380,000	890,000	△ 510,000	574,560	広報小委員会(ホームページ改良)
⑥活性化推進支出	5,970,000	5,970,000	0	4,764,133	活性化推進小委員会
若手の会	1,500,000	1,400,000	100,000	397,655	若手技術者勉強会 経費
ダムなんでも相談室	1,600,000	1,700,000	△ 100,000	1,276,700	ダムなんでも相談室 経費
北海道ブロック	440,000	700,000	△ 260,000	882,827	ダム見学会(支部) 経費
東北ブロック	250,000	240,000	10,000	756	with Dam Night 経費
中部近畿ブロック	570,000	670,000	△ 100,000	659,726	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
中国四国ブロック	260,000	310,000	△ 50,000	207,589	with Dam Night 経費
九州ブロック	950,000	550,000	400,000	1,218,778	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
With Dam Night 2016	200,000	200,000	0	120,102	with Dam Night 経費
ダム技術史講演会	200,000	200,000	0	0	対象：会員と一般
⑦調査研究支出	1,030,000	340,000	690,000	118,659	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	40,000	40,000	0	864	部会 経費
フィルダム研究部会	0	0	0	0	
地質・基礎研究部会	120,000	110,000	10,000	756	現地調査 経費
維持管理研究部会	70,000	70,000	0	756	現地調査 経費
施工研究部会	50,000	50,000	0	50,432	部会 経費
計測管理研究部会	0	20,000	△ 20,000	864	
ダム技術史研究部会	50,000	50,000	0	0	部会 経費
交流研究連絡会議	600,000	0	600,000	64,987	交流研究補助金3テーマ分
これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題 検討委員会	100,000	0	100,000	0	
2. 刊行支出	4,620,000	4,620,000	0	3,991,607	
①会誌作成費	4,620,000	4,620,000	0	3,991,607	送料・抜刷別刷料含む
3. 図書出版事業支出	0	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑭計)	2,010,000	2,000,000	10,000	2,001,972	
①会場費	400,000	400,000	0	399,118	第26回総会 経費等
②会議費	680,000	680,000	0	671,377	第26回総会 経費等
③広報費	0	0	0	0	
④印刷製本費	310,000	310,000	0	160,326	第26回総会 経費等・ パンフレット作成費
⑤諸謝金	200,000	200,000	0	0	ダム工学 巻頭言・査読料
⑥消耗品費	0	0	0	99,540	
⑦通信費	70,000	70,000	0	182,977	会費請求書 送付等
⑧表彰費	0	0	0	0	
⑨支払手数料	50,000	50,000	0	56,394	WEBバンク・口座振替手数料
⑩旅費交通費	50,000	50,000	0	31,380	理事会等 交通費
⑪車両費	0	0	0	0	
⑫保険料	0	0	0	0	
⑬コンサルタント料	130,000	130,000	0	217,600	会計顧問報酬
⑭雑費	120,000	110,000	10,000	183,260	ダム日本購読料,日本工学会会費 防災学術連携体会費
5. 予備費支出	100,000	100,000	0	0	
小計 (1～5計)	18,373,000	17,940,000	433,000	14,513,341	
6. 繰越金	11,628,070	6,644,162	4,983,908	13,156,070	
合計 (小計+6)	30,001,070	24,584,162	5,416,908	27,669,411	